

時	学習活動	観点			児童の思考の流れ	評価	
		関	思	技		知	◇評価規準
1	課題の設定 本時の目標：単元課題を通して、疑問をもつことができる。 ・クリスマス会を行う計画をたてる単元課題から、用意する材料について疑問をもつ。 ○イチゴとチョコレートを何個用意すればよいのだろう。 ・学習の見通しをもつ。 ○学習計画を立てる。	○				・クリスマス会が楽しみだ。 ・イチゴとチョコレートを何個用意すればいいかわからない。 ・どうやったら分かるのか調べたい。	◇単元課題から、材料をいくつか用意すればいいのに関心を持ち、その方法について考えている。(行動観察、ノート) ★課題解決に向けて、自分の考えや意見を進んで表現している。(行動観察、ワークシート) 【主体性】
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>(単元課題) 2学期の終わりに、5・6年生でクリスマス会をしたいと思います。6年生のみなさんには、ケーキの上ののせるくだものとおかしがいくついるのかを調べてほしいと思います。 村上先生がみんなのために、イチゴとチョコレートを用意したいと思います。5・6年生にアンケートをとったところ、イチゴに手をあげた人は11人、チョコレートに手をあげた人は15人で、そのうち両方に手をあげた人は8人でした。 下のように決めて配ると、イチゴは何個、チョコレートは何個用意すればいいですか。 両方に手をあげた人・・・イチゴ1こ、チョコレート1こ イチゴだけに手をあげた人・・・イチゴ2こ チョコレートだけに手をあげた人・・・チョコレート2こ</p> </div>							
2	情報の収集① 本時の目標：いろいろな場合を順序よく整理する方法について意欲的に学習しようとしている。 ・クリスマス会で行う出し物の班の組み合わせを、図や表にかいて、順序よく整理して調べる。 ○4つの班で、どの班も1回ずつ出し物ができるようにするためにはどうすればよいのだろう。 ○図や表にかいて考えよう。 ○分かったことを振り返ろう。				○	・頭の中だけでは、比べられない。 ・図や表にかいたら、落ちがなくて整理できた。 ・これからは、色々な図や表で整理しよう。	◇4種類のものの中から2種類を選んで組をつくる組み合わせと、その場合の数について、図や表を使って理解する。(行動観察、ノート) ★課題解決に必要なことを理解して筋道を立てて考え、式・図・言葉を相互に関連付けて表現している。(行動観察、ノート) 【論理的思考力】
3	情報の収集② 本時の目標：4つの中から3つを選んだり、5つの中から4つを選んだりする組み合わせと、その場合の数を求めることができる。 ・クリスマス会で使うハンカチ落としゲームで、4種類のハンカチから3種類を選ぶ組み合わせで、選ばない1種類に目をつけて、表にかいて順序よく整理する。 ○4種類のうち、3種類のハンカチを選ぶ。 ○選ばない1種類に着目して表に整理する。 ○練習問題を解く。				○	・今までの表では分からない。 ・選ばない1種類に○をつけずに整理したら比べられた。 ・○ではなく、×でもできそう。 ・他の場合でもやってみよう。	◇3つや4つのもの中から3種類を選んで組をつくる組み合わせと、その場合の数について、図や表を使って理解する。(行動観察、ノート) ★意見交流を通して「自分や友達の考えの良さ」や「自分の誤り」に気づき、表現したり、修正したりしている。(行動観察、ノート) 【自己理解】
4	情報の収集③ 本時の目標：3つや4つのもとの並べ方と、その場合の数を求めることができる。 ・クリスマス会で、3人で順番に出し物をする場面で、その順番を図にかいて順序よく整理して調べる。 ○1番目に出し物をする人を決めて、残りの場合を考えたらよい。 ○前の人から固定していくと整理することができる。 ○練習問題を解く。				○	・ごちゃごちゃして分かりにくい。 ・1番目に出し物をする人を固定して考えたらよい。 ・簡単に整理できた。 ・自分たちが出し物をする時に活用したい。	◇3つや4つのもとの並べ方と、その場合の数を求めることができる。(行動観察・ノート) ★意見交流を通して「自分や友達の考えの良さ」や「自分の誤り」に気づき、表現したり、修正したりしている。(行動観察、ノート) 【自己理解】
5	情報の収集④ 本時の目標：4つの中から2つか3つを選んで並べ、その場合の数を求めることができる。 ・4色のうちの2色を使ってクリスマス会のポスターをつくる場面で、ポスターの中にある旗が何通りできるかを図にかいて順序よく整理して調べる。 ○樹形図にかいて整理していく。 ○固定できるものとできないもの(0)があることを理解する。 ○練習問題を解く。				○	・今までの方法では整理できない。 ・樹形図を使ったら簡単に整理できた。 ・場合によっては、樹形図の最初にかけないものもあることが分かった。	◇4つの中から2つか3つを選んで並べその場合の数を求めることができる。(行動観察・ノート) ★振り返りの場面でお互いの考えの良さを伝える姿や自分の説明で他の児童を納得させることができている。(行動観察、ノート) 【自らへの自信】

6	整理・分析	本時の目標：起こり得る場合を順序よく整理し、目的に合う行き方を選ぶことができる。		
	<ul style="list-style-type: none"> クリスマス会で行う宝探しゲームで探す全ての行き方を図や表にかいて順序よく整理して調べ、その中から条件にあてはまる行き方を見つける。 ○全ての行き方を樹形図に表す。 ○それぞれの行き方を計算で求める。 ○条件に合った行き方を考える。 	○	<ul style="list-style-type: none"> まずは、全ての行き方を樹形図に表そう。 全ての行き方を計算して求めよう。 一番条件に合った行き方について調べよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇起こり得る場合を順序よく整理し、目的に合う行き方を選ぶことができる。(行動観察、ノート) ★課題解決に必要なことを理解して筋道を立てて考え、式・図・言葉を相互に関連付けて表現している。(行動観察、ノート) 【論理的思考力】
7	整理・分析	本時の目標：起こり得る場合を順序よく整理し、目的に合う道順を選ぶことができる。		
	<ul style="list-style-type: none"> クリスマス会で行う宝探しゲームで探す全ての行き方を、図や表にかいて順序よく整理して調べ、その中から条件にあてはまる行き方を見つける。 ○全ての行き方を樹形図に表す。 ○一番短い行き方について樹形図を見ながらまとめる。 ○条件に合った行き方を考える。 	○	<ul style="list-style-type: none"> まずは、全ての行き方を樹形図に表そう。 一番短い道のりを求めることができた。 樹形図を使えば、どんな条件でも整理できることが分かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇起こり得る場合を順序よく整理し、目的に合う道順を選ぶことができる。(行動観察、ノート) ★意見交流を通して「自分や友達の考えの良さ」や「自分の誤り」に気づき、表現したり、修正したりしている。(行動観察、ノート) 【自己理解】
8	整理・分析	本時の目標：起こり得る場合を分類、整理して問題を解決することができる。		
	<ul style="list-style-type: none"> みかんがほしい人、バナナがほしい人、両方がほしい人の人数から、みかんだけがほしい人とバナナだけがほしい人の人数を考える。 みかんの数とバナナの数を求める。 ○問題場面をテープ図に表し、「全体、部分①、部分②」を整理する。 ○テープ図を使って、部分①と部分②を求める。 	○	<ul style="list-style-type: none"> 問題文だけでは、よく分からない。 テープ図に表して考えよう。 全体の人数が分かれば、部分①と部分②を表すことができた。 他の問題でもできそう。 クリスマス会で役に立ちそうだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇起こり得る場合を分類、整理して解決することができる。(行動観察、ノート) ★振り返りの場面でお互いの考えの良さを伝える姿や自分の説明で他の児童を納得させることができている。(行動観察、ノート) 【自らへの自信】
9	まとめ・表現	本時の目標：学習してきたことを活用して単元課題を解くことができる。		
	<ul style="list-style-type: none"> 学習してきたことを活用して単元課題を解く。 ○必要な材料を求めよう。 ○テープ図に表して考える。 ○全体一部分で求められた。 	○	<ul style="list-style-type: none"> 必要な材料を求めよう。 テープ図に表して考えたい。 全体と部分①と部分②が分かれば、簡単に求めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇必要な材料の個数を単元をつらぬくアイデア(本質)を使って考えている。(行動観察、ノート) ★資質・能力が全て発揮されている。(行動観察、ノート) 【主体性】 【論理的思考力】 【自己理解】 【自らへの自信】
10	まとめ・創造・表現	本時の目標：パフォーマンス課題を解くことができる。		
	パフォーマンス課題	○		<ul style="list-style-type: none"> ◇パフォーマンス課題を解くことができる。(パフォーマンス課題) ★既習したことを生かして、主体的にパフォーマンス課題に挑戦している。(パフォーマンス課題) 【主体性】

8 パフォーマンス課題

(パフォーマンス課題)

2学期の終わりに、5・6年生でクリスマス会をしたいと思います。6年生のみなさんには、ケーキの上のにせるくだものがいくつあるのかを調べてほしいと思います。

村上先生がみんなのために、イチゴとビスケットを用意したいと思います。5・6年生にアンケートをとったところ、イチゴに手をあげた人は15人、ビスケットに手をあげた人は11人で、そのうち両方に手をあげた人は8人でした。下のように決めて配ると、イチゴは何個、チョコレートは何個用意すればいいですか。

両方に手をあげた人・・・イチゴ1こ、ビスケット1こ

イチゴだけに手をあげた人・・・イチゴ2こ

ビスケットだけに手をあげた人・・・ビスケット2こ

9 パフォーマンス課題の評価基準

1	2	3
<ul style="list-style-type: none"> イチゴとビスケットを何個用意すればいいかを正しく求められない。 	<ul style="list-style-type: none"> イチゴとビスケットを何個用意すればいいかを単元をつらぬくアイデア(本質)を活用して求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> イチゴとビスケットを何個用意すればいいかを式・図・言葉や単元をつらぬくアイデア(本質)を活用して求めることができる。